

科目等履修生・聴講生・特修生

2026年度 秋・冬 入学 入学要項

〈2026年5月29日公開版〉

CONTENTS

アドミッション・ポリシー	P1
A 選考方法と募集日程	P2
B 出願の流れ	P3
C 出願資格	P4
D 出願時の必要書類	P5
E 入学手続き	P6
F 出願にあたっての注意事項および必要な環境	P7
G 科目一覧	P8~12
H オンライン履修証明プログラム (オープンバッジ授与)	P13~16
資料 東京通信大学 3つのポリシー	P17



東京通信大学

問合せ [入学相談室]

E-mail: nyugaku@internet.ac.jp

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-7-3

TEL.03-3344-2222 10:00~20:00
(日曜・祝日、8/13~15、12/26~1/5を除く)

www.internet.ac.jp

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

東京通信大学の求める学生は、本学および学部の理念に共感し、自分の経験やキャリアを活かし、自ら学び考えて取り組もうとする学習意欲の高い人です。

多様性を尊重し、地域・社会に貢献したいという意欲を持っている人や、情報スキルを活用し、情報技術分野・福祉分野の課題発見と解決に強い関心と目的意識を持った人に門戸を開放します。

- (1) 東京通信大学の教育理念に共感し、eラーニングを通じた学修に積極的に取り組む意欲のある人。
- (2) 自分の経験やキャリアを活かす意欲のある人。
- (3) 多様な価値観や自分とは異なる感性を柔軟に受け入れることができる人。
- (4) 社会・地域に貢献したいと考える人。

科目等履修生とは

高校卒業以上の方が、希望する科目だけを履修します。科目を履修して修了すると単位が認定され、正科生として入学した際には、修得した科目の単位が認定されます。

聴講生とは

高校卒業以上の方が、希望する科目だけを履修します。授業を聴講することができ、興味のある分野を深めるなど、目的に合わせて学ぶことができます。(単位は認定されません)

特修生とは

大学入学資格のない方(高校中退等)が、1つまたは複数の科目を履修します。本学の指定する科目を16単位以上履修し合格することで、正科生として出願することができます。

正科生として入学した際には、合格した科目の単位が認定されます。

※詳細はP12の「特修生が正科生として出願する場合」を確認ください。

卒業時に学士の学位(4年制大学卒業資格)を取得したい方は、「正科生(1年次入学・編入学)」の入学要項を確認ください。

出願から入学までの流れ

出願



入学選考



合否通知



入学手続き



入学

P1~5を参照

P6を参照

※出願前にP7の「F 出願にあたっての注意事項および必要な環境」を必ず確認ください。

A 選考方法と募集日程【科目等履修生・聴講生・特修生】

アドミッション・ポリシーに基づき、入学希望者の熱意や意欲、これまでの経験や実績を評価し、広く入学希望者を受け入れています。

下記の出願期間内に書類必着で出願手続きを行ってください。出願方法の詳細はP3の「B 出願の流れ」を参照ください。

選考方法	入学期	募集期	出願期間(書類必着)	可否通知日
・書類審査 ・志望理由書※	秋入学	1期	5月14日(木)～ 6月16日(火)	7月10日(金)
		2期	6月17日(水)～ 7月15日(水)	8月 7日(金)
		3期	7月16日(木)～ 8月20日(木)	9月11日(金)
	冬入学	1期	9月25日(金)～10月21日(水)	11月13日(金)
		2期	10月22日(木)～11月17日(火)	12月11日(金)

※志望理由書は、300字以上600字未満で所定のフォームに入力ください。

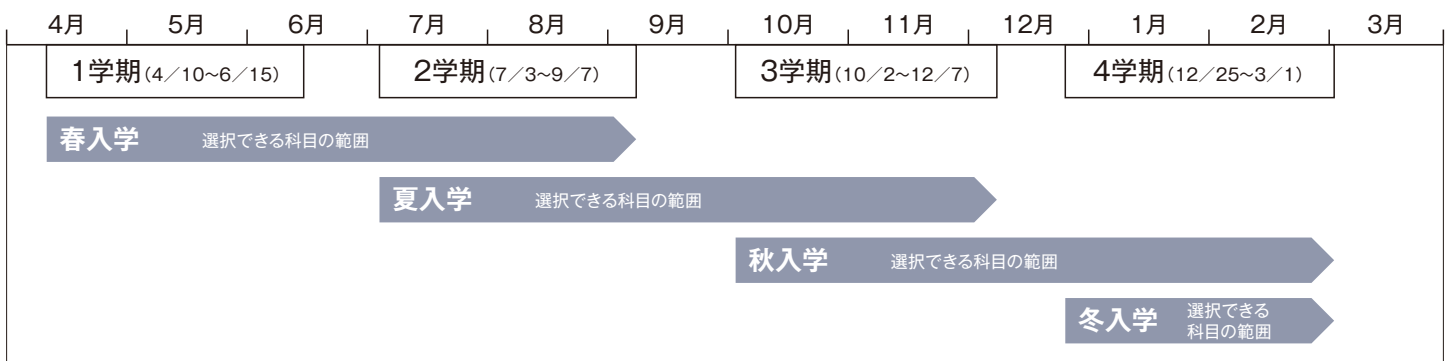
フォームおよび課題は@CAMPUS(アット・キャンパス)「WEB出願・入学手続き」で確認ください。(P3「B 出願の流れ」STEP2)

- 各科目定員になり次第、締切ります。
- 上記募集期で欠員が生じた場合は欠員募集を行います。各科目の定員状況については入学相談室に問合せください。
- 入学金の納入期限など、入学手続きの詳細は、合格後に連絡します。

学期と入学期について

- 本学は1年間で4つの学期に分けた「4学期制」を導入しています。
- 科目等履修生、聴講生、特修生は、各学期ごとに入学の機会があります。
- 1科目の履修は、1学期間で完了します。(一部例外科目があります。)
- 入学期ごとに、出願時に選択できる科目の範囲が決まっています。
 春入学：1学期と2学期 夏入学：2学期と3学期 秋入学：3学期と4学期 冬入学：4学期
 詳しくは、P8「G 科目一覧」を参照ください。
- 入学後、本学所定の期間に次学期以降の科目の申込み手続きができます。
- 履修に上限はありませんが、1学期間に履修する科目は12単位程度までが適正です。

〈2026年度 履修期間〉



B 出願の流れ【科目等履修生・聴講生・特修生】

東京通信大学では出願手続き、入学前の手続き、進捗状況の確認など入学に関するあらゆることをオンラインキャンパス「@CAMPUS(アット・キャンパス)」で行います。

出願手続きは各募集期・出願期間内に、WEB出願ページから下記の手続きを行ってください。「必要書類」が本学に到着し、受付後に出願完了となります。書類に不備がないように注意ください。

WEB出願はこちら

出願 @CAMPUS(アット・キャンパス)にログインし、下記の手続きすべてを出願期間内に行ってください。

STEP1

出願情報の登録

氏名、住所、希望する科目等を入力ください。

※出願前にP7の「F 出願にあたっての注意事項および必要な環境」を確認ください。

※1学期間に履修する科目は最大で12単位程度までが適正です。

STEP2

選考料の納入

選考料 3,000円を納入。納入方法は、銀行振込、クレジットカード、ペイジー、コンビニエンスストアから選ぶことができ、**24時間いつでも即日納入が可能です**。

※聴講生の場合、選考料は不要です。

※納入後の選考料は、理由のいかんにかかわらず返金できません。

必要書類の郵送

下記①～③を、④の封筒に入れ、「簡易書留」で出願締切日必着にて郵送ください。

① WEB出願ページから「出願セット(PDF書類)」をダウンロードし印刷

② P5の必要書類を準備

③ 出願セット内の「必要書類チェックシート」を記入

④ 出願セット内の「宛名ラベル」を記入し市販の角2封筒に貼付

※提出書類は返却できません。

証明写真のアップロード

WEB出願画面で証明写真をアップロードください。

志望理由書の入力

志望理由書を入力ください。

出願完了 STEP2の手続きをすべて行い、期日内に到着した「必要書類」を本学が受付けた時点で、出願完了となります。

合否通知

合否はP2記載の合否通知日に@CAMPUS(アット・キャンパス)にて15時以降に通知します。電話などによる結果の問合せには応じられませんので、必ずログインして確認ください。

合格した人は入学手続きを行ってください。(詳細はP6)

学校法人 日本教育財団のグループ校の在校生の方へ

選考の結果合格して入学する場合、入学金の半額を免除します。

出願時のSTEP1「出願情報の登録」で、「グループコード」欄に「在籍している校名」「クラス記号」を入力ください。

グループコード入力例: HAL東京 AT-12A-212

※グループコードの入力がない場合は免除できませんのでご注意ください。

※グループ校に入学予定(入学金を納入済み)の方も対象となります。「グループコード」欄には、「入学予定の校名」「受験番号」を入力ください。

C 出願資格【科目等履修生】

入学時点で満18歳に達しており※、かつ次のいずれかに該当する人。

〈入学日〉 秋入学:2026年10月1日 冬入学:2026年12月18日

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した人
- (2) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した人(旧規程による大学入学資格検定に合格した人を含む)
- (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した人(または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した人)
- (4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した人(またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した人)
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人
- (6) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人
- (7) 高等専門学校の3年次を修了した人、または特別支援学校高等部を修了した人
- (8) 文部科学大臣の指定した人

※外国の学校を卒業した場合には、18歳未満でも入学を許可することがあります。該当する場合は、事前に入学相談室まで問合せください。

C 出願資格【聴講生】

上記の科目等履修生の出願資格を満たす人。

C 出願資格【特修生】

入学時点で満15歳に達しており、本学の科目を履修し得る能力があると認められる人。

留学生や母語が日本語でない方の出願

本学では、すべての授業を日本語で行います。母語が日本語でない方は、出願時に下記いずれかの方法で、日本語能力を証明する必要があります。なお、本学は通信制大学のため、留学ビザの資格発生要件とはなりません。

日本語能力を証明する書類のいずれか1つの提出

- (1) 日本語能力試験(JLPT) N1(1級)またはN2(2級)の日本語能力認定書のコピー
- (2) 日本留学試験(EJU)の日本語科目「記述を除く読解・聴解・聴読解」の合計得点200点以上の成績通知書のコピー
(2020年までに当該試験を受けた人のみ。2021年以降に受験した人は、本学で「EJUオンライン成績照会」システムにて確認しますので、「出願セット」(詳細はP3)内の「必要書類チェックシート」に受験番号を記入ください。)
- (3) BJTビジネス日本語能力試験400点以上の成績通知書のコピー

本学によるEJUオンライン成績照会

海外在住の方の出願

海外からの受講も可能です。ただし、P7の「F 出願にあたっての注意事項および必要な環境」を事前に必ず確認の上、出願ください。なお在学中の大学との連絡は、原則オンラインキャンパス「@CAMPUS(アット・キャンパス)」で行います。電話、郵送での連絡は行いません。学生証や各種証明書発行時の郵送先は、国内の住所のみとなります。

身体等の障害、疾病その他の理由により学習上の配慮を希望される方の出願

障害等を理由に入学をお断りすることはありませんが、学習上の配慮など修学支援が必要な方は、WEB出願時に必ず「障害による修学上の特別措置希望」を選択し、「特別措置の具体的内容」欄に記載ください。その内容をふまえて、本学にて入学後の支援の方法を検討します。場合によっては、入学決定前または決定後に問合せることがあります。ただし以下に示す通り、個々の障害の状況によっては、本学として対応できないことがあります。また、出願時に前述の方法での申し出のない事柄については対応できません。

(合理的配慮の例)

- ・学生本人が手配した学習支援者(あらかじめ届けられた学習支援者)による付添いを許可すること
- ・社会福祉士・精神保健福祉士などのスクーリング時に座席の位置の配慮などを行うこと
- ・英語科目において発語が難しい学生に対して音声ソフトの使用を認めること

(対応困難な事例)

- ・点字教材や文字を拡大した教材、音声教材、データ化した教材の準備
 - ・スクーリング時の介助者の手配。また、特別な教室や設備の提供・持込み
 - ・授業内容の本質的な変更や、公平な成績評価の保証を損なう基準の引き下げ、卒業要件の緩和など
- ※社会福祉士・精神保健福祉士の実習では、実習受入先の個々の状況により、十分配慮できない場合があります。

二重学籍について(大学・短期大学・専門学校等に在学中の方へ)

本学では二重学籍を認めています。すでに在籍している、もしくは在学予定の大学等が、他校との二重学籍を認めていない場合があります。ですので、別途ご自身で確認ください。

学校法人 日本教育財団のグループ校の在校生の方へ

出願時にグループコードを入力し、選考の結果合格して入学する場合入学金の半額を免除します。詳しくはP3を参照ください。

D 出願時の必要書類【科目等履修生・聴講生・特修生】

下記の必要書類を市販の角2封筒に入れ、**出願締切日必着にて「簡易書留」**で郵送ください。

〈**本学所定用紙**〉はWEB出願ページからダウンロードして印刷ください。

全員提出が必要な書類			
必要書類	科目等履修生	聴講生	特修生
出願セット(PDF) (本学所定用紙) 詳細は下記	○	○	○
高等学校の調査書(原本)	○ いずれか1つ ※1 ※2	○ いずれか1つ ※1 ※2	—
高等学校の卒業証明書(原本) 卒業証書不可			—
高等学校卒業程度認定試験の 合格証明書または合格成績証明書(原本)			—
住民票	—	—	○ いずれか1つ
運転免許証または健康保険証のコピー(両面) ※3	—	—	

該当する人のみ提出が必要な書類		
戸籍謄本または戸籍抄本 ※4	婚姻やその他の理由により証明書記載の本名と 出願時の本名が異なる場合のみ	—
日本語能力を証明する右記のいずれか1つの書類	留学生や母語が日本語でない場合のみ提出ください。 (1) 日本語能力試験(JLPT) N1(1級)またはN2(2級)の日本語能力認定書のコピー (2) 日本留学試験(EJU)の日本語科目「記述を除く読解・聴解・聴読解」の合計得点 200点以上の成績通知書のコピー(2020年までに当該試験を受けた人のみ) (3) BJTビジネス日本語能力試験400点以上の成績通知書のコピー	

※1 卒業見込者の場合、卒業証明書の提出が入学までに必要です。

※2 大学・短期大学の卒業(見込)証明書での提出も可能です。

※3 健康保険証のコピーを提出する場合は、被保険者記号・番号、保険者番号等をペン等で黒く塗りつぶしてください。

※4 旧姓(旧氏)が併記された住民票、マイナンバーカード(コピー)を提出することもできます。マイナンバー等をペン等で黒く塗りつぶしてください。戸籍謄本、戸籍抄本、住民票は、コピーでの提出は受け付けません。

◆各証明書は、日本語・英語のいずれかで表記された証明書に限ります。

◆各証明書の厳封は不要です。

出願セット(PDF)について

出願時に必要な下記2つの本学所定用紙がセットされています。

WEB出願ページからダウンロードし、印刷して出願手続きを行ってください。

- ① 必要書類チェックシート(出願時に記入し同封)
- ② 宛名ラベル(市販の角2封筒に貼付)

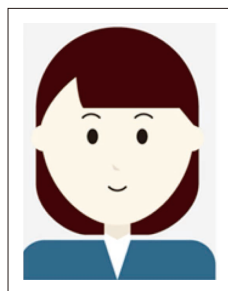
証明写真について

下記条件を満たす証明写真をWEB出願画面でアップロードください。

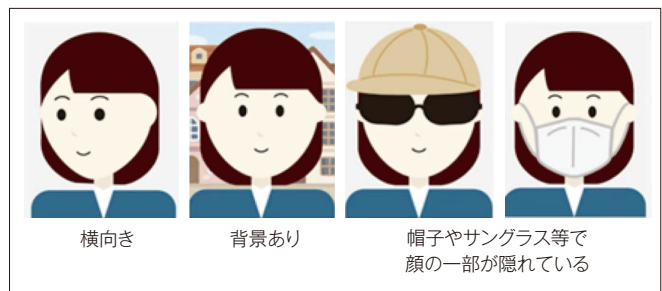
〈証明写真の条件〉

1. 正面向き、上半身・脱帽・背景なし
2. 6カ月以内に撮影のもの
3. アップロードするファイルは、
jpg、jpeg、png形式であること
4. 解像度が600×800px以上であること
5. ファイルサイズは200KB~8MBであること

○ 適切な写真の例



× 再提出が必要な写真の例



高等学校や大学等へ在籍中に出願する方へ

卒業見込、合格見込で出願する方は、後日「卒業証明書」「合格証明書」の提出が必要です。

いずれも、**本学への入学までに提出ください**。提出がない場合は、合格・入学を取り消しますのでご注意ください。

E 入学手続き【科目等履修生・聴講生・特修生】

合否はP2記載の合否通知日に、オンラインキャンパス「@CAMPUS(アット・キャンパス)」にて通知します。
電話などによる結果の問合せには応じられませんので、必ずログインして確認ください。
合格した人は下記の入学手続きを行ってください。

※入学金の納入期限など、入学手続きの詳細は、合格後に連絡します。

STEP1

学籍情報の登録

@CAMPUS(アット・キャンパス)で合格通知を受けた後、出願時の登録情報を更新ください。

STEP2

入学金・学費の納入

@CAMPUS(アット・キャンパス)から指定期日までに入学金・学費を納入ください。

入学金・学費についてはP12「学納金」を確認ください。

納入方法は、銀行振込、クレジットカード、ペイジーから選ぶことができ、24時間いつでも即日納入が可能です。

※納入後の入学金・学費は、理由のいかんにかかわらず返金できません。

STEP3

顔認証の準備 (科目等履修生、特修生のみ)

授業や試験の際に必要な顔認証の準備を行います。提出日・提出方法は、STEP2「入学金・学費の納入」後に連絡します。

本人確認

公的な身分証明書と出願時に提出した写真を照合し、学生本人であることの確認を行います。

マスタ 画像登録

顔認証に必要なマスタ画像を登録します。

@CAMPUS(アット・キャンパス)上で、24時間いつでも登録できます。

※授業開始までに事前連絡なく本人確認、マスタ画像登録が行われない場合、また提示・提出された内容が事実と異なった場合は、合格・入学を取り消すことがあります。

STEP4

新入生オリエンテーション (オンライン)

本学で学習を進める上での案内をPCやスマートフォンで視聴できます。
視聴方法等の詳細は、STEP2「入学金・学費の納入」後に連絡します。

授業開始 ※履修期間はP2「2026年度 履修期間」を参照ください。

F 出願にあたっての注意事項および必要な環境【科目等履修生・聴講生・特修生】

出願にあたっての注意事項

事前に下記の事項を確認し、了解の上で出願ください。

- (1) 本入学要項を印刷・所持している場合は、出願前に必ず**オンラインキャンパス「@CAMPUS(アット・キャンパス)」**で最新版を確認ください。
- (2) 出願は必ず志願者本人が行ってください。何らかの事情で代理の方が行う必要がある場合には、事前に入学相談室まで連絡ください。
- (3) すべての提出書類は理由のいかんにかかわらず返却できません。
- (4) 出願に虚偽の内容や不正行為が認められた場合には、合格・入学を取り消すことがあります。
- (5) 所定の期日までに、P3のSTEP1、2が完了していない場合、選考を辞退したものとみなします。
- (6) 所定の期日までに、入学金および学費の納入がなかった場合は、入学を辞退したものとみなします。
- (7) 納入後の選考料、入学金・学費、授業目的公衆送信補償金および事務手数料は、理由のいかんにかかわらず返金できません。
- (8) 本学の入学における手続きおよび連絡には、原則として**@CAMPUS(アット・キャンパス)**、およびユーザIDとして登録したメールアドレスを使用します。メール受信制限をされている方は、本学のドメイン(@internet.ac.jp)からのメール受信を許可ください。
また、本学からのメールの登録解除・配信停止手続きを行わないようご注意ください。
- (9) 本学は「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、プライバシーポリシーに基づいて個人情報の保護に努めます。
- (10) 本学では特別な記載のない限り授業配信日時等を日本時間で記載します。
- (11) 本学では、@CAMPUS(アット・キャンパス)で学習を進めます。受講にあたっては、以下の環境が必要です。確認の上、出願ください。

※各ページに記載している日時・場所・内容は、社会情勢等により変更となる場合があります。最新情報は**@CAMPUS(アット・キャンパス)**で確認ください。

必要な環境

以下の受講推奨環境は、2026年度 秋・冬入学の適用環境です。科目により、必要な環境が異なる場合があります。

また今後、変更になった場合は、@CAMPUS(アット・キャンパス)にて随時お知らせします。(新しいブラウザ、OSについてはリリース後に検証を行い、動作確認ができ次第、@CAMPUS(アット・キャンパス)でお知らせします)

【PC】

端末

デスクトップPCもしくはノートPC(CPU:2GHz以上 メモリ:4GB以上)

OS

Windows 11以降およびその最新版
macOS 14以降およびその最新版

ブラウザ

〈Windows〉Google Chrome、Microsoft Edgeの最新版
〈macOS〉Google Chrome、Safariの最新版

ネットワーク

下り速度1Mbps程度のインターネット回線
自宅のインターネット回線など、安定した接続環境※1

ソフトウェア

Microsoft Office(本学の学生は入学後に無償で利用できます)
PDFが閲覧可能なソフトウェア

WEBカメラ(内蔵カメラ)※2

1280x960(120万画素)程度のWEBカメラを有していること
(内蔵・外付けカメラのどちらかが満たしていれば構いません)

【モバイル】※3

端末

スマートフォンもしくはタブレット端末

OS

〈Apple〉iOS 17/iPadOS 17以降
〈Android〉Android OS 10以降

ブラウザ

〈Apple〉Mobile Safariの最新版
〈Android〉Google Chrome for Androidの最新版

ネットワーク

下り速度1Mbps程度のインターネット回線
自宅のインターネット回線など、安定した接続環境※1

ソフトウェア

Microsoft Office(本学の学生は入学後に無償で利用できます)
PDFが閲覧可能なソフトウェア

WEBカメラ(内蔵カメラ)※2

端末本体にフロントカメラを有していること

※1 本学での学習には、常時安定したネットワーク接続が必要となります。移動時のネットワーク接続は不安定となることや、回線業者による速度制限等のネットワーク速度低下等が発生する場合もあるため、モバイル通信(LTE、モバイルWi-Fi等)では長時間の学習ができない場合があります。

※2 本学では、授業中および試験中にWEBカメラを使用した顔認証(生体認証)を行います。無作為に複数回撮影した顔写真データを顔認証システムに登録し、自動照合で本人確認を行います。撮影した写真は本学サーバーに保管され、個人情報保護法その他法令で認められる場合を除き、本人の同意なく第三者への提供は行いません。

※3 本学が指定する科目では、PCでの受講が必要です。

G 科目一覧【科目等履修生・聴講生・特修生】

下記の科目一覧から受講したい科目を選んで、1科目から履修することが可能です。特修生が正科生として出願する場合はP12を確認ください。

〈科目名の番号やアルファベットについて〉

- ローマ数字 (I・II) ……数字の小さな科目から大きな科目へという順序で履修ください。
- アルファベット (A・B) ……科目内容に順序性はなく、どちらから履修しても構いません。

【2026年度 開講 科目一覧①】 各科目の詳細は本学WEBサイト「開講科目一覧・シラバス」を確認ください。

科目区分	科目名	単位数	入学期ごとの科目選択範囲		学生種別				
			秋入学		科目等履修生	聴講生	特修生		
			冬入学						
			履修期間						
[3学期] 2026年 10月2日～ 12月7日	[4学期] 2026年 12月25日～ 3月1日								
教養基礎科目	情報リテラシー	文献・情報調査法	1	○		○	○	—	
		情報基礎A	1	○		○	○	—	
		情報基礎B	1		○	○	○	—	
		情報リテラシーI	1	○		○	○	○(自然)	
		情報リテラシーII	1		○	○	○	○(自然)	
		協調の手法	1	○		○	○	—	
	実務基礎	日本語文章論	1	○		○	○	—	
		知的生産の技術	1	○		○	○	—	
		問題発見・解決の方法	1		○	○	○	○(社会)	
		ビジネス法入門A	1	○		○	○	—	
		ビジネス法入門B	1		○	○	○	—	
		企業社会と労働法	1	○		○	○	—	
		日本経済入門	1		○	○	○	—	
		グローバルゼーション	1	○		○	○	○(社会)	
		IT産業論	1	○		○	○	—	
		企業倫理	1		○	○	○	—	
		ボランティア論	1	○		○	○	—	
		キャリアデザイン	1		○	○	○	—	
		人文科学	コミュニケーション論A	1	○		○	○	○(人文)
			コミュニケーション論B	1		○	○	○	—
社会と宗教	1		○		○	○	—		
日本文学	1			○	○	○	○(人文)		
アメリカ文学A	1		○		○	○	○(人文)		
アメリカ文学B	1			○	○	○	○(人文)		
社会科学	日本国憲法		2		○	○	○	—	
	心理学入門A		1	○		○	○	—	
	心理学入門B		1		○	○	○	—	
	選択理論心理学概論		1	○		○	○	—	
	医療社会学	1	○		○	○	—		
	相互扶助の経済と文化	1	○		○	○	—		
	経済人類学	1	○		○	○	○(社会)		
	アジア経済論	1		○	○	○	—		
	現代社会論	1		○	○	○	○(社会)		
	福祉と国連人権問題	1	○		○	○	—		
	福祉とインクルーシブ教育システム	1		○	○	○	—		
	行政学A	1	○		○	○	—		
	行政学B	1		○	○	○	—		
	バイアスの心理学	1	○		○	○	—		
装いと粧いの心理学	1		○	○	○	—			
自然科学	物理学概論I	1	○		○	○	—		
	物理学概論II	1		○	○	○	—		
	霊長類学入門	1	○		○	○	○(自然)		
	科学コミュニケーション論	1	○		○	○	○(自然)		
	統計学入門	1		○	○	○	—		
	数学基礎I	1	○		○	○	—		
	数学基礎II	1		○	○	○	—		
	線形代数I	1	○		○	○	—		
	線形代数II	1		○	○	○	—		
	食の安全学	1	○		○	○	○(自然)		
	微積分I	1	○		○	○	—		
	微積分II	1		○	○	○	—		
	健康科目	運動と健康A	1	○		○	○	○(自然)	
		運動と健康B	1		○	○	○	○(自然)	
健康と栄養		1		○	○	○	—		
依存と回復		1		○	○	○	—		
現代社会と健康		1	○		○	○	○(自然)		
身体教育論		1	○		○	○	—		

【2026年度 開講 科目一覧②】 各科目の詳細は本学WEBサイト「開講科目一覧・シラバス」を確認ください。

科目区分			科目名	単位数	入学期ごとの科目選択範囲		学生種別			
					秋入学		科目等履修生	聴講生	特修生	
					冬入学					
					履修期間		【3学期】 2026年 10月2日～ 12月7日	【4学期】 2026年 12月25日～ 3月1日		
教養教育 科目	教養科目	外国語 科目※	基礎英語A	1	○		○	—	—	
			基礎英語B	1		○	○	—	—	
			実践英語A	1	○		○	—	—	
			実践英語B	1		○	○	—	—	
			応用英語	1	○		○	—	—	
			総合英語	1	○	○	○	—	—	
専門教育 科目 (情報マネジ メント)	情報 システム	プロ グラミング・ データ処理	データ構造とアルゴリズムI	1	○		○	○	—	
			データ構造とアルゴリズムII	1		○	○	○	—	
			ハードウェア総論I	1	○		○	○	—	
			ハードウェア総論II	1		○	○	○	—	
			実践プログラミングI	1	○		○	—	—	
			実践プログラミングII	1		○	○	—	—	
			情報数学特論	1	○	○	○	—	—	
		情報 システム	情報 システム	ソフトウェア総論I	1	○		○	○	—
				ソフトウェア総論II	1		○	○	○	—
				システム総論I	1	○		○	○	—
				システム総論II	1		○	○	○	—
				ソフトウェア工学I	1	○		○	—	—
				ソフトウェア工学II	1		○	○	—	—
				プロジェクトマネジメントの手法	1		○	○	○	—
				ヒューマンコンピュータインタラクション	1	○		○	○	—
				ユーザエクスペリエンス	1		○	○	○	—
				システム設計I	1	○		○	○	—
				システム設計II	1		○	○	○	—
	インターネット技術I			1	○		○	○	—	
	インターネット技術II			1		○	○	○	—	
	ネットワークとサービスI			1	○		○	○	—	
	ネットワークとサービスII			1		○	○	○	—	
	先端応用A	1	○		○	○	—			
	先端応用B	1		○	○	○	—			
	セキュリティ・ 倫理	セキュリティ・ 倫理	情報セキュリティI	1	○		○	○	—	
			情報セキュリティII	1		○	○	○	—	
			情報倫理A	1	○		○	○	—	
			情報倫理B	1		○	○	○	—	
			社会とサイバーセキュリティ	1		○	○	○	—	
			初級セキュアプログラミング	1		○	○	○	—	
			システムセキュリティI	1	○		○	○	—	
			システムセキュリティII	1		○	○	○	—	
			デジタルフォレンジックI	1	○		○	○	—	
			デジタルフォレンジックII	1		○	○	○	—	
	マネジメント	マネジメント 基礎	経営学入門I	1	○		○	○	—	
			経営学入門II	1		○	○	○	—	
			簿記入門I	1	○		○	○	—	
			簿記入門II	1		○	○	○	—	
			マーケティング概論I	1	○		○	○	—	
			マーケティング概論II	1		○	○	○	—	
			基礎ミクロ経済学	1	○		○	○	—	
		基礎マクロ経済学	1		○	○	○	—		
会計学入門I		1	○		○	○	—			
会計学入門II		1		○	○	○	—			
経営		経営	組織行動論I	1	○		○	○	—	
			組織行動論II	1		○	○	○	—	
			経営管理論I	1	○		○	○	—	
			経営管理論II	1		○	○	○	—	
	経営戦略論A		1	○		○	○	—		
	経営戦略論B		1		○	○	○	—		
	情報ビジネス論I		1	○		○	○	—		
	情報ビジネス論II		1		○	○	○	—		
	ベンチャー論I		1	○		○	○	—		
	ベンチャー論II		1		○	○	○	—		
人材マネジメント	1		○	○	○	—				
リーダーシップ論I	1	○		○	○	—				
リーダーシップ論II	1		○	○	○	—				
イノベーション論	1		○	○	○	—				
経済・商学・ 会計	経済・商学・ 会計	管理会計論	1		○	○	○	—		
		金融論	1	○		○	○	—		
		ビジネス経済学	1		○	○	○	—		

【2026年度 開講 科目一覧③】 各科目の詳細は本学WEBサイト「開講科目一覧・シラバス」を確認ください。

科目区分	科目名	単位数	入学期ごとの科目選択範囲		学生種別				
			秋入学		科目等履修生	聴講生	特修生		
			冬入学						
			履修期間		科目等履修生	聴講生	特修生		
【3学期】 2026年 10月2日～ 12月7日	【4学期】 2026年 12月25日～ 3月1日								
専門教育 科目 (情報マネジメント)	経済・商学・ 会計	消費者行動論	1	○		○	○	—	
		財務会計論	1		○	○	○	—	
		ゲーム理論	1	○		○	○	—	
	情報社会	情報社会論I	1	○		○	○	—	
		情報社会論II	1		○	○	○	—	
		メディア論	1		○	○	○	—	
		つながりの社会学	1	○		○	○	—	
		経済社会学A	1	○		○	○	—	
		経済社会学B	1		○	○	○	—	
		デザイン思考概論	1		○	○	○	—	
		情報マネジメント概論A	1	○		○	○	—	
		情報マネジメント概論B	1		○	○	○	—	
		ソーシャルネットワーク論A	1	○		○	○	—	
		ソーシャルネットワーク論B	1		○	○	○	—	
		教育メディアと学習	1	○		○	○	—	
		情報社会デザイン論I	1	○		○	○	—	
	情報社会デザイン論II	1		○	○	○	—		
	情報メディアと文明	1	○		○	○	—		
	マスメッセージ論	1	○		○	○	—		
	メディアと政治	1		○	○	○	—		
	データ リテラシー	社会情報処理I	1	○		○	○	—	
		社会情報処理II	1		○	○	○	—	
		社会調査概論I	1	○		○	○	—	
		社会調査概論II	1		○	○	○	—	
		社会調査方法論I	1	○		○	○	—	
		社会調査方法論II	1		○	○	○	—	
		社会統計学I	1	○		○	○	—	
		社会統計学II	1		○	○	○	—	
	データ サイエンス	質的調査I	1	○		○	○	—	
		質的調査II	1		○	○	○	—	
		データサイエンス概論	1	○		○	○	—	
		人工知能概論A	1	○		○	○	—	
		オープンデータ基礎論	1	○		○	○	—	
	専門教育 科目 (人間福祉)	ソーシャルワークの 基礎理論と方法	社会データ分析概論	1		○	○	○	—
			計量テキスト分析	1	○		○	○	—
			医学概論A	1	○		○	○	—
医学概論B			1		○	○	○	—	
心理学と心理的支援A			1	○		○	○	—	
心理学と心理的支援B			1		○	○	○	—	
社会福祉調査の基礎A			1	○		○	○	—	
社会福祉調査の基礎B			1		○	○	○	—	
社会福祉の原理と政策A			1	○		○	○	—	
社会福祉の原理と政策B			1		○	○	○	—	
社会福祉の原理と政策C			1	○		○	○	—	
社会福祉の原理と政策D			1		○	○	○	—	
社会学と社会システムA			1	○		○	○	—	
社会学と社会システムB			1		○	○	○	—	
権利擁護を支える法制度A			1	○		○	○	—	
権利擁護を支える法制度B			1		○	○	○	—	
社会保障A			1	○		○	○	—	
社会保障B			1		○	○	○	—	
社会保障C			1	○		○	○	—	
社会保障D			1		○	○	○	—	
地域福祉と包括的支援体制A			1	○		○	○	—	
地域福祉と包括的支援体制B			1		○	○	○	—	
地域福祉と包括的支援体制C			1	○		○	○	—	
地域福祉と包括的支援体制D			1		○	○	○	—	
ソーシャルワークの基盤と専門職			2	○		○	○	—	
ソーシャルワークの理論と方法A			2	○		○	○	—	
ソーシャルワークの理論と方法B			2		○	○	○	—	
障害者福祉A			1	○		○	○	—	
障害者福祉B			1		○	○	○	—	
福祉の展開			1	○		○	○	—	
社会福祉の展開	1	○		○	○	—			
精神保健福祉の展開	1	○		○	○	—			

【2026年度 開講 科目一覧④】 各科目の詳細は本学WEBサイト「開講科目一覧・シラバス」を確認ください。

科目区分	科目名	単位数	入学期ごとの科目選択範囲		学生種別			
			秋入学		科目等履修生	聴講生	特修生	
			冬入学					
			履修期間					
			【3学期】 2026年 10月2日～ 12月7日	【4学期】 2026年 12月25日～ 3月1日				
包括的支援体制の基礎	人間福祉学入門	1	○	○	○	○	—	
	災害福祉論	1	○		○	○	—	
	NPO概論	1		○	○	○	—	
	スクールソーシャルワーク論	1	○		○	○	—	
	医療ソーシャルワーク実践論	1		○	○	○	—	
	福祉心理学	1	○		○	○	—	
	福祉と特別ニーズ教育	1		○	○	○	—	
	障害者スポーツ	1	○		○	○	—	
	保健福祉学総論	1	○		○	○	—	
	介護の基本	1		○	○	○	—	
	福祉産業マネジメント論	1	○		○	○	—	
	社会資源開発・共同体創造論	1		○	○	○	—	
	共生社会論	1		○	○	○	—	
	サルコペニア・フレイル予防論	1		○	○	○	—	
	地域包括支援	1	○		○	○	—	
地域居住と包括ケア	1		○	○	○	—		
福祉のまちづくり論	1	○		○	○	—		
生と死の福祉論A	1	○		○	○	—		
生と死の福祉論B	1		○	○	○	—		
社会福祉	社会福祉の知識	福祉サービスの組織と経営A	1	○		○	○	—
		福祉サービスの組織と経営B	1		○	○	○	—
		ソーシャルワークの基盤と専門職(社会専門)	2	○		○	○	—
		ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)A	2	○		○	○	—
		ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)B	2		○	○	○	—
		高齢者福祉A	1	○		○	○	—
		高齢者福祉B	1		○	○	○	—
		公的扶助論A	1	○		○	○	—
		公的扶助論B	1		○	○	○	—
		保健医療と福祉A	1	○		○	○	—
		保健医療と福祉B	1		○	○	○	—
		児童・家庭福祉A	1	○		○	○	—
児童・家庭福祉B	1		○	○	○	—		
精神保健福祉	精神保健福祉の知識	ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)A	2	○		○	○	—
		ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)B	2		○	○	○	—
		現代の精神保健の課題と支援A	2	○		○	○	—
		現代の精神保健の課題と支援B	2		○	○	○	—
		精神保健福祉の原理A	2	○		○	○	—
		精神保健福祉の原理B	2		○	○	○	—
		精神保健福祉制度論	2	○		○	○	—
		精神障害リハビリテーション論A	1	○		○	○	—
精神障害リハビリテーション論B	1		○	○	○	—		
総合人間	自然・人間・思想	死生学A	1	○		○	○	—
		死生学B	1		○	○	○	—
		脳神経倫理	1	○		○	○	—
		医薬品とくらし	1	○		○	○	—
		ブレインテックの産業と倫理	1		○	○	○	—
	多様性・包摂	ジェンダー論A	1	○		○	○	—
		ジェンダー論B	1		○	○	○	—
		ジェンダー／セクシュアリティと倫理	1		○	○	○	—
	心理学	認知心理学A	1	○		○	○	—
		認知心理学B	1		○	○	○	—
学習心理学		1		○	○	○	—	
コミュニケーションの心理学		1	○		○	○	—	
ストレスマネジメントの心理学		1		○	○	○	—	
生理心理学	1	○		○	○	—		
心理学研究法A	1	○		○	○	—		
心理学研究法B	1		○	○	○	—		

【2026年度 開講 科目一覧⑤】 各科目の詳細は本学WEBサイト「開講科目一覧・シラバス」を確認ください。

科目区分	科目名	単位数	入学期ごとの科目選択範囲		学生種別		
			秋入学		科目等履修生	聴講生	特修生
			冬入学				
			履修期間		科目等履修生	聴講生	特修生
【3学期】 2026年 10月2日～ 12月7日	【4学期】 2026年 12月25日～ 3月1日						
専門教育 科目 (人間福祉)	医療・看護学	予防医学	1	○	○	○	—
		脳科学入門	1		○	○	—
		医療看護関係法規	1	○	○	○	—
		老年学入門	1	○	○	○	—
		地域・在宅看護論A	1	○	○	○	—
		地域・在宅看護論B	1		○	○	—
		公衆衛生学A	1	○	○	○	—
		公衆衛生学B	1		○	○	—
		史実から見た医療福祉	1		○	○	—
		リハビリテーション医学A	1	○	○	○	—
	リハビリテーション医学B	1		○	○	—	
	健康・運動学	運動神経生理学	1		○	○	—
		健康管理学A	1	○	○	○	—
		健康管理学B	1		○	○	—
		健康科学論	1	○	○	○	—
		生活習慣・生活環境と健康	1		○	○	—
	栄養学	栄養学	1	○	○	○	—
		食品学	1		○	○	—
		調理学	1	○	○	○	—
		フードビジネス論	1	○	○	○	—
		フードコーディネーター論	1		○	○	—
	住居学	住居学A	1	○	○	○	—
		住居学B	1		○	○	—
		住環境整備論	1		○	○	—
		ユニバーサル・デザインA	1	○	○	○	—
		ユニバーサル・デザインB	1		○	○	—
		居住環境論A	1	○	○	○	—
	居住環境論B	1		○	○	—	
	公共政策学	地方自治論A	1	○	○	○	—
		地方自治論B	1		○	○	—
公共政策学A		1	○	○	○	—	
公共政策学B		1		○	○	—	

特修生が正科生として出願する場合

下記の要件をすべて満たした場合に正科生として出願することができます。

■正科生としての出願資格要件

- (1) 正科生として入学時点で満18歳に達していること。
- (2) 上記の科目一覧の「特修生」に○印のある16単位を履修し合格していること。

* 過去に本学の特修生として合格した科目を含めることもできます。「人文科学」「社会科学」「自然科学」から1科目以上、合計16単位以上の科目を履修し合格していることが必要です。

■注意

- 特修生として本学で合格した単位について、他大学にて単位認定を得ることはできません。
- 正科生としての入学資格は本学のみにおいて有効です（他大学への入学はできません）。
- 正科生として入学後に退学した場合、中途退学とはならず、一切の単位認定を行いません。

科目等履修生・聴講生・特修生 学納金

入学金 10,000円／授業料(1単位) 6,000円／学籍管理料(1学期) 5,000円

※外国語科目を履修する場合には、教材費2,800円／単位が必要です。

※別途、授業目的公衆送信補償金99円／学期が必要です。国による制度改正により費用等が変更になる場合があります。

H オンライン履修証明プログラム(オープンバッジ授与)

東京通信大学の履修証明プログラムは、キャリア直結の専門教育を“オンライン完結”で学ぶことができます。

本学にて科目等履修生として所定の単位を取得後、申請することで学校教育法※に基づく履修証明が発行され、履歴書への記載もできます。

また、デジタル庁やグローバルIT企業も導入している国際標準のデジタル証明・認証として「オープンバッジ」が授与されるため、知識・スキル・経験のデジタル証明としてアピールでき、活躍の場が広がります。

キャリア形成につながるプログラムはDX人材育成からAI、マーケティング、福祉で役立つ食・住環境まで幅広く、受講費用は50,000円から74,000円です。(入学金、授業料、学籍管理料を含む)

※学校教育法105条「履修証明制度」は、2007年の学校教育法改正において創設されました。社会人などを対象に、一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して、法に基づく履修証明書(Certificate)を交付できるとした制度です。詳細は、文部科学省のWEBサイトを参照ください。

オープンバッジについて

世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明・認証です。学修履歴や資格に関するデータとして授与され、自分専用の「オープンバッジウォレット」で一元管理されます。授与されたオープンバッジは、修了証明として活用することで、その人のスキルを可視化することができます。

履修証明取得までの流れ

STEP1

入学

科目等履修生として入学します。

手続きの詳細は、P3の「出願の流れ」を確認ください。

※P3「出願の流れ」にある「STEP1 出願情報の登録」で、履修する科目を登録する必要があります。P14~16で各プログラムの指定科目を確認し、登録ください。

STEP2

指定科目の履修

指定科目を履修し、単位を取得します。

どのプログラムも最短2学期間(約6ヵ月)で修了可能です。それ以上の期間をかけて履修することもできますが、各プログラムの申請期間を確認の上、期間内に履修・申請ください。

STEP3

履修証明の発行申請

指定科目をすべて履修すると、履修証明の発行申請が可能です。(発行申請は任意)

履修証明書(PDF)とオープンバッジ、両方の形式で発行されます。

申請手続きの詳細は入学後に公開される「オンライン履修証明プログラムの手引き」を参照ください。

発行手数料は1,000円です。

2026年度 プログラム一覧

2026年度は、以下のプログラムについて申請を受付けます。各指定科目の開講時期は、P8~12「G 科目一覧」で確認ください。

1. DX人材育成・リテラシープログラム
2. AI・データサイエンス・リテラシープログラム
3. マーケティングプログラム
4. ビジネス戦略基礎プログラム
5. データ分析リテラシープログラム
6. システムデザイン基礎プログラム
7. 地域福祉推進プログラム
8. 福祉住環境コーディネートプログラム
9. 食環境推進プログラム
10. メンタルヘルスプログラム(初級)
11. メンタルヘルスプログラム(中級)

2026年度 修了要件

本学の科目等履修生として、申請受付期間内に各プログラムの指定科目の単位をすべて取得して申請すると、履修証明が発行されます。

申請受付期間 2026年4月1日~2027年3月31日

1. DX人材育成・リテラシープログラム

DXの基礎となる、情報社会に関する知識およびアイデア創出に関する基礎知識を身につけます。その上で、様々な産業や企業におけるDXの意義や具体的な取組状況について説明できる力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

情報社会論I(P10) / IT産業論(P8) / 問題発見・解決の方法(P8) / デザイン思考概論(P10) / 情報マネジメント概論B(P10) / イノベーション論(P9)

2. AI・データサイエンス・リテラシープログラム

データサイエンスの基礎となる統計データ分析の概略を理解します。その上で、現実社会の法則性をデータから見出して予測する、人工知能にかかわる基礎知識を説明できる力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

社会情報処理I*(P10) / 社会情報処理II(P10) / 統計学入門(P8) / データサイエンス概論*(P10) / 人工知能概論A*(P10) / オープンデータ基礎論(P10) / 社会データ分析概論(P10)

*印の科目は必修。その他から2科目を選択。

3. マーケティングプログラム

個人の消費行動に関する理論およびマーケティングの基礎理論を学び、マーケティングの全体像を理解します。その上で、個人の消費行動やマーケティングにおける基本的な概念・枠組み・用語・手法・プロセスについて、説明できる力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

マーケティング概論Ⅰ(P9)／マーケティング概論Ⅱ(P9)／基礎ミクロ経済学(P9)／消費者行動論(P10)／経済社会学A(P10)

4. ビジネス戦略基礎プログラム

経営学の基礎および市場メカニズムの理解を通じて、ビジネス環境における戦略的思考力を養成します。「経営学入門」では組織運営に関する学問的基礎を学び、「経営戦略論」では競争優位の構築方法を修得します。さらに、「基礎ミクロ経済学」で市場と消費者行動の理論的な分析力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

経営学入門Ⅰ(P9)／経営学入門Ⅱ(P9)／経営戦略論A(P9)／経営戦略論B(P9)／基礎ミクロ経済学(P9)

5. データ分析リテラシープログラム

現代社会におけるデータ活用の重要性を理解し、実務や研究に応用可能なデータ分析のスキルを習得します。特に、量的アプローチ(統計分析や可視化など)と質的アプローチ(インタビューや観察など)の両面にバランスよく触れることで、多様なデータに対応できる柔軟な分析力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

計量テキスト分析(P10)／社会データ分析概論(P10)／社会統計学Ⅰ(P10)／社会統計学Ⅱ(P10)／質的調査Ⅰ(P10)／質的調査Ⅱ(P10)

6. システムデザイン基礎プログラム

IT情報システムの設計に必要な基礎知識を習得します。現代ではIT情報システムが社会インフラとして機能しているため、その開発においては、単に要件を満たすだけでなく、情報セキュリティや情報倫理、インターネットの特性を踏まえた考え方が求められます。システム開発に着手する前に理解しておくべき重要な知識を身につけるプログラムです。

【指定科目】

情報セキュリティⅠ(P9)／情報セキュリティⅡ(P9)／インターネット技術Ⅰ(P9)／インターネット技術Ⅱ(P9)／情報倫理A(P9)／情報倫理B(P9)

7. 地域福祉推進プログラム

地域共生社会の理念を理解します。その上で、住民や福祉関係者が連携して、住民が抱える多様かつ複合的な生活課題の解決状況を説明できる力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

ボランティア論(P8)／災害福祉論(P11)／NPO概論(P11)／福祉産業マネジメント論(P11)／社会資源開発・共同体創造論(P11)／医療ソーシャルワーク実践論(P11)／共生社会論(P11)

8. 福祉住環境コーディネートプログラム

高齢化社会における介護および福祉に関する知識を身につけます。さらに、建築の視点も加え、高齢者や障害者にとって適切な生活環境を説明できる力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

住居学A(P12)／住居学B(P12)／住環境整備論(P12)／ユニバーサル・デザインA(P12)／ユニバーサル・デザインB(P12)／居住環境論A(P12)／居住環境論B(P12)／福祉のまちづくり論(P11)

9. 食環境推進プログラム

食品(食材・料理・食事)に関する知識と意識を高め、心身の健康を増進する健全な食生活に関する取組状況を説明できる力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

健康と栄養(P8)／栄養学(P12)／食品学(P12)／調理学(P12)／フードビジネス論(P12)／フードコーディネート論(P12)／サルコペニア・フレイル予防論(P11)／老年学入門(P12)

10. メンタルヘルスプログラム(初級)

メンタルヘルスに関する基礎知識と支援のあり方について学び、現代社会における心の健康課題に対する理解を深め、適切な対応力を身につけるプログラムです。

【指定科目】

現代の精神保健の課題と支援A(P11)／生と死の福祉論A(P11)／依存と回復(P8)／精神保健福祉の原理A(P11)／精神障害リハビリテーション論A(P11)

11. メンタルヘルスプログラム(中級)

メンタルヘルスプログラム(初級)で学んだ基礎知識を土台として、精神保健・福祉・医療に関する応用知識を深めます。個々の状況に応じた支援や、課題解決方法について理解を深めるプログラムです。

【指定科目】

現代の精神保健の課題と支援A(P11)*／生と死の福祉論A(P11)*／依存と回復(P8)*／精神保健福祉の原理A(P11)*／精神障害リハビリテーション論A(P11)*／現代の精神保健の課題と支援B(P11)／生と死の福祉論B(P11)／精神保健福祉の原理B(P11)／精神障害リハビリテーション論B(P11)

*印の科目は、「メンタルヘルスプログラム(初級)」で既に単位修得している場合、同一科目を再度履修する必要はありません。

資料 東京通信大学 3つのポリシー

教育目標の目的を明確にするため、本学では以下に示す3つの方針(ポリシー)を定めています。

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

- (1) 時代が求める教養を兼ね備え、社会的課題を発見し解決に向けて積極的に取り組むことができる。
- (2) 他者に対する共感的姿勢を持ち、協働して課題に取り組むことができる。
- (3) 自らの専門知識や技術を深化させながら、その隣接分野に視野を広げていくことができる。
- (4) 情報技術を効果的に活用して職種横断的な調整力を持つ。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

- (1) 初年次において幅広く学び、興味と関心のある領域を多面的視点で認識させる。
- (2) 論理的で分析的な思考力・研究力の養成を目指して、今後の学修に必要な基礎学力を向上させ、調査研究の方法を教授して知的基盤を形成する。
- (3) 情報分野、福祉分野及び関連する隣接分野にわたる問題意識を深める。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

- (1) 東京通信大学の教育理念に共感し、eラーニングを通じた学修に積極的に取り組む意欲のある人。
- (2) 自分の経験やキャリアを活かす意欲のある人。
- (3) 多様な価値観や自分とは異なる感性を柔軟に受け入れることができる人。
- (4) 社会・地域に貢献したいと考える人。

*出願の際に必要なアドミッション・ポリシーについては、同内容をP1に掲載しています。